

国会質問 200回

あなたのために働く

逃げる
法人税を追う

税収アップの方策を提案！

ごく一部の大企業を優遇する研究開発減税を見直し、法人税負担率の不公平をただせば生まれる財源は4兆円です。たつみ議員は、このことを何度も国会で提案し、国会参考人も「有力な財源となるのは、言う通り政策減税だ。この部分に切り込んでいく方法はある」と賛同しました。

Amazonに世界標準の課税を

たつみ議員は、アップル、グーグル、アマゾン、フェイスブックなど巨大IT企業の日本での税逃れの実態を国会であきらかに。そして税収確保のため「グローバル企業は利益を得た国で税金を納めるべき」というOECDの考えに沿ったデジタル課税の仕組みを提案しました。

たつみ
コートロー

参議院議員

1976年大阪市西淀川区生まれ。府立北野高校卒業。ラグビー部。米エマーソン大学卒業。此花生活と健康を守る会事務局次長。2013年参議院選挙で大阪選挙区から初当選。予算委員会理事、経済産業委員。党森友疑惑追及チーム責任者。趣味は映画鑑賞。家族・妻、1女2男。

企業献金受け取らない**日本共産党**だからできる！

私たちが、庶民いじめの消費税増税ストップ、大企業と大資産家に応分の負担を求められるのは、財界・大企業から企業団体献金を一切受け取らない清潔な党だからです。
だからこそ、国会でも国民の立場で論戦・追及できるのです。

PUSH KOTARO



「不都合な真実に迫る人」

元NHK記者、大阪日日新聞記者
相澤 冬樹さん

森友事件はまだ終わっていません。国会で追及していく議員はぜひいてほしい。政権に不都合な真実に迫っていく、貧しい人や立場の弱い人に寄り添って、その人たちの声を世の中に伝えていくということは、記者の仕事でもあり、政治家もそうあってほしい。私は特定の政党を支持する立場ではありませんが、たつみさんは、これらを兼ね備えた人だという印象を持っています。(森友追及本の出版記念会でのあいさつより)

